

# 公共施設のあり方を考える

— 高浜市を次世代へ  
つなぐために —

「市民説明会アンケート結果の概要」

市では、平成21年度から公共施設の老朽化問題が喫緊の課題ととらえ、公共施設のあり方検討に取り組んできました。昨年11月からは新庁舎の建設工事なども始まり、高浜市を次世代へつなぐための具体的な一歩を踏み出しています。

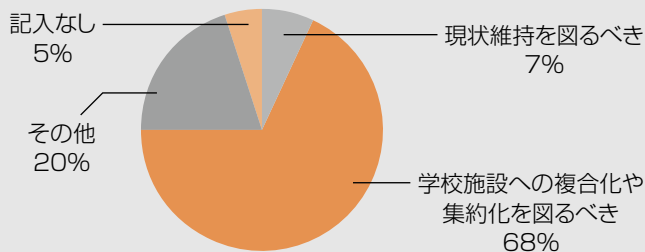
市民の皆さんと現状・課題を共有し、ともに知恵と工夫を出し合っ、この問題に向き合っていくため、今回は11月から5つの小学校区で開催しました「高浜市の公共施設のあり方を考える市民説明会」のアンケートの結果について紹介します。

## ■ 「高浜市の公共施設のあり方を考える市民説明会」のアンケート結果（5小学校区集計）

参加者数集計一覧表（うちアンケート有効回答数317人）

開催日	学区	参加者数
11月 4日	高浜小学校区	140人
11月18日	高取小学校区	103人
12月 2日	港小学校区	122人
12月16日	吉浜小学校区	137人
1月14日	翼小学校区	91人
合計		593人

**問** 今後、高浜市では公共施設の複合化や集約化を図り、「学校」を地域コミュニティの拠点とした、新たなまちづくりを進めていきたいと考えています。そのことに対してあなたはどのように思いますか。



### アンケートにはこんな質問が寄せられました（一部抜粋）

#### （1）公共施設のあり方に関する質問

**質問** 個々の問題点があると思いますが、施設更新についての見とおしがよくわかりました。施設の集約後の利用はどのようになるのですか。

**回答** 複合化・集約化後の運営については、学校関係者、利用者団体などと意見交換をして検討していきます。

#### （2）学校施設への複合化・集約化に関する質問

**質問** 学校関係者の負担が大きくなるのではと不安です。子どもが安全・安心に教育を受けられるのか心配です。

**回答** 学校を小学校区の住民が集う「地域のコミュニティ拠点」と位置づけ、地域の方の見守りの中で子どもたちの成長を育んでいきます。また、複合化により学校関係者の負担が大きくなるよう、セキュリティ確保を第一に考えていきます。

#### （3）中央公民館に関する質問

**質問** 中央公民館の廃止を計画に位置づけたのは、利用者が少なく、維持費と収入が合っていないからですか。

**回答** 中央公民館は、建築後35年を経過し、大規模改修の時期を迎えており、継続使用するためには、多額の改修費が必要な状況です。また、ホールの利用については、300席以上の利用は年間30回程です。利用している方には不便をおかけしますが、持続可能な財政運営を第一に考え、機能を高浜小学校体育館へ移転することを考えています。

◆公共施設のあり方検討に関する詳しい内容は、市公式ホームページのトップバナー「公共施設マネジメント」をクリック！  
連載は今回でいったん終了します。4月以降も進捗状況などについて随時お知らせしていきます。

問合せ先 困行政グループ ☎52-1111（内線351）